

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み（EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み）について

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S&N	朝日梱包
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90%未達店所が4店所あり <p>【EDI課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他社受託入力で、先方のシステム運用トラブルにより委託データ配信されない場合のバーコード貼り、オンライン登録等不可が大きい 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状まだマジックIIの導入を頂けないお客様の中で独自のシステムをご利用の為変更に至らない ・変更するにしてもシステム改修に費用がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社システムの『メガEXP便貸切便依頼システム』を活用していく中で、今まで以上に運用上での配車効率をupさせていくことが必要 （当日オーダーが半数以上の為、前以て配車・車両手配が十分できていない） 	<p>【IT化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外販を中心とした拠点は3か所、3PL業務における鶴見、名古屋の拠点はすでにSLIMSを標準・カスタマイズ共に導入し、事務所の生産性と出荷における精度の向上を両立はできている しかし、一部は従来のファックスによる運用も存在 	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化につきましては西濃運輸出荷分については100%完了 ・西濃運輸出荷分以外については、EDI化は進んでいない状況で複写式原票を使用しており、情報連携に遅れが出ている
新たな取組み (課題解決策)	<p>【EDI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他拠点で輸送情報交換が実現している同業他社について同様のEDI化をSISと共に交渉中（名鉄運輸岡山） ・同業他社輸送情報交換の他社受託入力への切替 <p>【EDI課題対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用の見直しやシステム対応を依頼しトラブルが発生しない環境を構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月ごろから運賃改定でお客様にお願いしている。その中で独自のシステム利用で改修に費用がかかる場合、値上率を調整するかわりにマジックIIの導入依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・配車効率を上げるために、前日までのオーダー入力の比率を上げる必要がある ⇒お客様には当日のオーダー入力から、前日までに入力いただくことを依頼 ・当日オーダー入力のお客様をピックアップ、前日までに入力できていない理由を共有、改善策を策定 	<p>【IT化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記における一部のファックスによる運用は地道に荷主への説得が必要であり、特にIT化のメリットが荷主側に享受できることをアピールポイントとして強力に提案し、本年度中にはほぼ交渉成立の見込みをつける ・KMII単体で運用していたお客様に、更にSLIMSの導入も促進し、IT化とEDI化を合わせて進めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはヤマト運輸のEDI化100%を目指して行く ・B2クラウドを使用するためには現状使用している印字フォーマットを一部加工が必要な為、現行フォーマット（西濃運輸仕様）の変更し、他運送業者のシステムに対応できる仕組みを作っていく
効果・実績について	<p>【EDI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EDI化率90.37% ・他社受託でバーコード費用の削減、貼り付け作業時間の削減が図れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化率 2022年度 90.29% 2023年度 5月 95.91% ・今回の課題のお客様についてはこれから導入予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・前日までの受注率は5月度48.3%（前月より2.3%up） ・集配条件・商品特性・納期・物量把握のタイミングが早まり、配車効率向上 ・手持ち車両の積載状況について早めに把握できるようになり、急なオーダーにも柔軟に対応しやすくなった 	<p>【IT化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、当該センターにおいて約60%の荷主にてIT化されており、SLIMS運用を起因とする不具合はなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・西濃運輸出荷分については、1日2回、配達状況のメールがくる為、お客様にリアルタイムでの情報提供が可能だが、他運送業者出荷分については、WEBサイトでの確認の為、情報提供に時間がかかっており、全ての運送業者のEDI化が100%になれば出荷状況をリアルタイムで提供する事が可能
ポイント	<p>【EDI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他社受託入力は効率化の効果が大きい反面、委託データ配信のトラブルが発生すると業務負荷も大きくなってしまったため、事前に十分な検証が必要であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷の多いお客様のための該当 ・マジックIIを導入することにより集荷時の手間が減り時間短縮となり労働時間も減らすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・前日までにオーダー入力を頂くことのお客様にとってのメリットをアピール （集荷希望時間への対応や、商品特性に合った車両手配、積み合わせ、積み付け方法等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記のアピールポイントを荷主側に享受させるポイントは荷主側の担当者に依存することが多く、特に世代によってメリットを享受できることが理解いただけない場合があるので荷主の意向も尊重し進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様からの梱包発送については、発送した商品が全て完了して完結となる為、出荷状況をリアルタイムで提供する事で、お客様に安心感を与えられ、今後の依頼増加にも繋がっていく